

平成30年2月14日

輸送動向について（平成30年1月分）

1. 輸送概況

今月は、中旬から下旬にかけての大寒波の影響で、新潟、関東、北海道など各地で大雪となり、月全体で高速貨 350 本、専貨 4 本が運休した（前年は、高速貨 207 本、専貨 12 本が運休）。

コンテナは、積合せ貨物が東海道・山陽線の沿線における中長距離帯において、ドライバー不足により鉄道利用が増加した。自動車部品は東海・九州地区間での輸送が順調に推移し、食料工業品はビールが東北・関西管内等で好調となり、砂糖も 29 年産のビートが豊作であったため、前年を上回った。

一方、紙・パルプは需要減少に加え、雪害による運休・マシン故障等もあり、特に新潟・東北地区発で大きく減送となった。農産品・青果物は全国的に民間流通米輸送が落ち込んだほか、北海道産の玉葱も雪害による運休で低調に推移した。また一部工場の設備不具合等の影響を受けた化学工業品が前年を下回り、コンテナ全体では前年比 99.8%となった。

車扱は、石油が気温低下に伴って特に灯油の需要が増加したことに加え、配送圏の見直しにより鉄道へのシフトが進んだことから、好調に推移した。その結果、車扱全体では前年比 105.5%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 101.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,648	1,651	99.8%	18,590	18,081	102.8%
車 扱	946	896	105.5%	7,457	7,264	102.7%
合 計	2,594	2,547	101.8%	26,047	25,345	102.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	147	154	-7	94.9%
	化学工業品	156	161	-5	97.4%
	化学薬品	127	125	2	101.4%
	食料工業品	231	227	4	101.9%
	紙・パルプ	242	256	-14	94.6%
	他工業品	119	126	-7	94.5%
	積合せ貨物	206	187	19	109.9%
	自動車部品	73	69	4	105.0%
	家電・情報機器	30	31	-1	96.2%
	エコ関連物資	38	40	-2	94.4%
	その他	279	274	5	102.0%
	コンテナ計	1,648	1,651	-3	99.8%
車 扱	石油	651	603	48	108.0%
	セメント・石灰石	144	143	1	101.0%
	車 両	91	86	5	105.9%
	その他	60	65	-5	92.3%
	車 扱 計	946	896	50	105.5%
合 計		2,594	2,547	47	101.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）